

National
Parks
of Japan



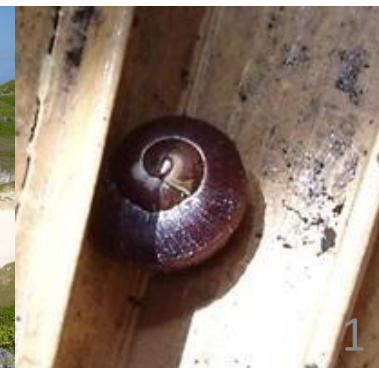
20211213 第5回「新たな旅のスタイル」に関する検討委員会

【資料7】

日本の国立公園が提案する「新たな旅」

環境省 自然環境局

国立公園課 国立公園利用推進室



国立公園満喫プロジェクト

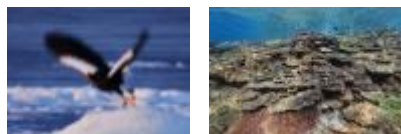
「明日の日本を支える観光ビジョン（2016年3月）」の柱の一つに国立公園が位置づけられる

2016年～ 国立公園満喫プロジェクト開始 【訪日外国人の国立公園利用者数】 490万人（2015年）→667万人（2019年）

国立公園の保護と利用の好循環により、優れた自然を守り地域活性化を図る

- ◆ 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ◆ 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

国立公園を核とした
地域循環共生圏の実現



国立公園の優れた
自然環境

最大の魅力は
自然そのもの

保護

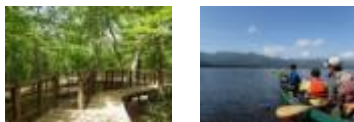
利用

地域の産業の活性化
地域の持続的な発展

地域資源として
自然の価値向上

国立公園の磨き上げ

- ・ 景観改善（廃屋撤去等）
- ・ ビジターセンター等の再整備
- ・ 公共施設の民間開放（カフェ等設置）
- ・ 体験プログラムの充実
- ・ 利用者負担による保全のしくみ
- ・ 多様な宿泊サービス充実



国内外へのプロモーション

- ・ 観光パートナー企業との連携
- ・ SNSや海外メディアの活用
- ・ 旅行博・商談会の参加
- ・ 旅行会社等との情報交換会の開催



国際観光旅客税の活用による取組の強化

（2019年度～）

- ・ 利用拠点の滞在環境の上質化
- ・ 多言語解説の充実
- ・ 魅力あるコンテンツ充実（野生動物観光／グラビタ／地場産品／ナイトタイム）
- ・ 日本政府観光局サイトへの一括情報サイト設置
- ・ ビジターセンターの機能強化等

日本の国立公園のブランドコンセプト

ブランドメッセージ

その自然には、物語がある。

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の体験ができる。

情緒価値

自然風景・自然体験・文化体験の
多様性に感心する

自然と人の共生で生まれた
歴史や物語が心に響く

機能価値

一期一会の自然風景の
多様性を感じることができる

自然と人々の共生による
生活・文化を体験できる

地域の人々やレンジャーたちが対話
し守ってきた歴史を学ぶことができる

事実・ファクト

同じ公園・同じ場所でも
時によって違う景色を見せる

多様性に富む34の公園
(動植物、景観)がある

人が手を入れ共生して
きた自然がある

地域性である

地域の資産である

保護し、また利用に係る
整備をしてきた

【気候】 四季がある

【地形】 南北に長く、標高差があり、地形も複雑で狭い国土

【制度】 日本を代表する「傑出した自然の風景地」として国が指定

日本の特徴



自然体験アクティビティの充実

●マウンテンバイクファンライド

【乗鞍高原（中部山岳）】

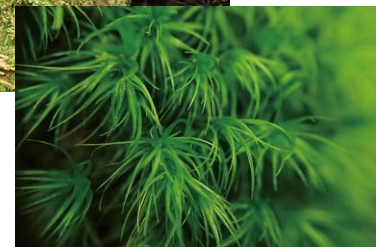
マウンテンバイクで気軽に散策したい方や子供と一緒にマウンテンバイクで走りたい方向けのライトなガイドツアー。経験者向けプログラムも別途ご用意。



●コケさんぽ

【奥入瀬溪流（十和田八幡平）】

ルーペの使い方からスタートし、コンパクトデジタルカメラやスマートフォンでのコケ写真の撮り方、代表的なコケの見分け方、コケと他の生きものたちとの関係まで「知る愉しみ」をお伝え。





保護と利用の好循環

● 予約制と協力金の導入

【**蔦沼の紅葉（十和田八幡平）**】

展望デッキ上での混雑等について、完全予約制及び協力金制度により利用者数の抑制を行い、日の出時間帯の優れた自然景観の提供体制を試験的に実施



デッキ上の混雑



歩道外への立ち入り

（近年の状況）朝日に照らされた紅葉が美しい蔦沼では人が押し寄せ、オーバーユースによる満足度低下、湿地植生破壊の懸念等が発生

● 野生動物観光の推進

【**日本アルプスの野生動物観察（中部山岳）**】

高山帯の希少種である**ライチョウ**の**観察ルールハンドブック**を作成。地元の山岳ガイドがハンドブックを活用し、乗鞍岳で2回のモニターツアーを実施。ツアーコンテンツ造成を図るとともに保護と利用の好循環の仕組みづくりを行政、専門家、観光事業者が連携。





サステナビリティの率先地域

●ゼロカーボンパーク (脱炭素、循環型の取組)

電気自動車の駐車場無料化、脱炭素二次交通システムの構築を見越したE-bikeサービス等の導入、マイボトルの活用推進などを率先的に実施。



●自然との共生

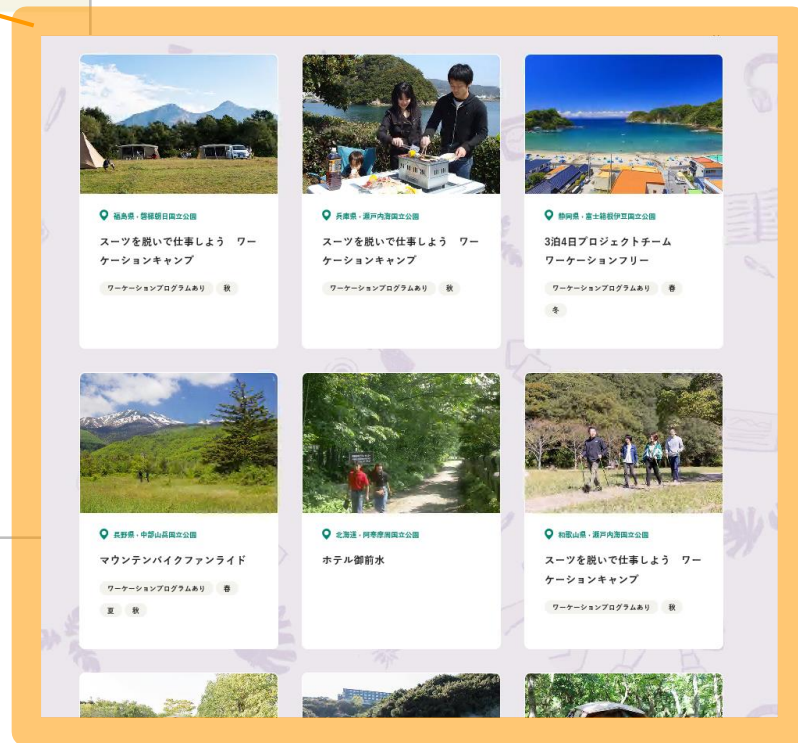
人と自然が共生する日本の国立公園で、自然に対する感謝と畏怖、自然の恵みを引き出す知恵と技術を学ぶ。



国内誘客の強化

国内利用者向けサイト「国立公園に、行ってみよう」

随時コンテンツ拡充中！



補正予算事業等により支援を行った国立公園内等でワーケーションができる施設を紹介。各事業者・施設のサイトへリンク。